

ブレインバンクに献体をご了承頂いたご家族皆様へ  
(研究に関する情報)

当院ならびに関連施設では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究への協力を希望されない場合は、下記に記載されている研究の担当者までお知らせください。なお、研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはありません。

研究課題名	小胞体ストレスによる神経変性疾患の病態形成メカニズムの解析 (福祉村病院倫理委員会承認番号#396)
当院の研究責任者	福祉村病院長寿医学研究所 研究員 赤津 裕泰 (名古屋市立大学医学研究科 教授)
他の研究機関および各施設の研究責任者	広島大学大学院医歯薬保健学研究科分子細胞情報学 教授 今泉和則 広島大学大学院医歯薬保健学研究科ストレス分子動態学 助教 松久幸司
本研究の目的	脳虚血後の神経細胞障害やアルツハイマー病をはじめとする神経変性疾患の発症に小胞体ストレスが深く関わるということが指摘されている。本研究では上記疾患の発症および病態形成における小胞体ストレスの重要性を明確にすることを目的とする。 脳虚血やアルツハイマー病などの様々な神経変性疾患において小胞体ストレスが生じており、疾患発症との関連性が指摘されている。しかし、ヒト疾患脳における小胞体ストレス関連分子の詳細な発現と脳内分布についてはほとんど解析されてこなかった。そこで小胞体ストレスの脳内における発生と神経変性疾患病態形成との関連性を明確にする研究を計画した。本研究成果は神経変性疾患の治療への新たなターゲット開拓につながる。
対象者該当期間	福祉村ブレインバンクに保管されている全症例。
研究の方法	福祉村ブレインバンクより各種脳疾患患者および健常者の死後脳サンプルを提供頂き、種々のタンパク質の発現量、局在を解析する。
個人情報の取扱い	長寿医学研究所個人情報管理者によって適切に管理される。
お問い合わせ先	名古屋市立大学大学院 医学研究科 地域医療教育学(秘書宛) 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 TEL 052-853-8527 (内線 8527)
備考	